

平成24年行政事業レビューシート

(警察庁

事業名	プローブ情報を活用した交通管制システムの高度化		担当部局庁	交通局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成24年度		担当課室	交通規制課		交通規制課長 和田 昭夫	
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	新たな情報通信技術戦略 新成長戦略			
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 程度以内)	車載機に蓄積された車両の走行履歴(以下「プローブ情報」という。)は、従来の路側感知器から収集する交通情報を大幅に補完するものであり、これを利用して信号制御の高度化や交通情報の充実等を行い、交通管制システムの高度化を図る。						
事業概要 (5行程以内。別添可)	既存の光ビーコンを介してプローブ情報を収集し、信号制御の高度化や交通情報の充実に活用できる情報を生成する装置を警視庁及び神奈川県警察の交通管制センターに整備し、交通管制システムの高度化を図るモデル事業である。平成23年度は、プローブ情報を実際に活用して信号制御及び交通情報の高度化を図るため、警視庁及び神奈川県警察の交通管制センターの機器の改修を行った。これにより、交通渋滞の解消や交通事故の抑止が期待される。 [平成21年度～平成24年度計画の3年度目]						
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	266	245	139	30	-
		繰越し等	0	0	0	0	-
		計	0	0	0	0	-
	執行額	266	245	139	30	-	
	執行率(%)	261	227	125			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	(成果目標) プローブ情報を活用した信号制御の高度化や 交通情報提供の充実化等が交通流に与える影 響の定量的なとりまとめ (成果指標) 報告書数	成果実績	件	0	1	1	1
		達成度	%	0%	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業の実施箇所数		活動実績 (当初見込 み)	箇所	2	2	2
単位当たり コスト	643,019千円 / 事業		算出根拠	平成24年度までの総事業費(平成21～23年度執行額及び平成24年度予算額)			
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	人件費等	30		事業の終了			
	計	30	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	信号制御及び交通情報提供の高度化は、渋滞の低減等安全かつ円滑な交通の実現に資するものであり、新たな情報通信技術戦略及び新成長戦略においても当該事業を推進することとされており、優先度が高い事業であるといえる。また、全国的な普及のため、国がモデル事業として実施しているものである。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	当モデル事業においては、各年度とも一般競争入札を実施しており、競争性を確保している。また、事業を実施するために、最小限のコストとなるように仕様を検討している。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
活動実績、成果実績		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	交通管制センターにおいてプローブ情報を活用した信号制御や交通情報提供の高度化を行うことは、渋滞低減等安全で円滑な交通の実現に直結するため、本モデル事業は、実効性が高いものである。また、4箇年事業として、これまでの3年間で予定に従って着実に機器整備を進め、事業を着実に進めている。他省庁においてもプローブ情報を活用した事業があるが、警察では、交通管理者として信号制御及び交通情報提供を対象として事業を進めており、他省庁と適切に役割分担をしている。
		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	類似事業名とその所管部局・府省名	<small>総務省：グリーンITSによるCO2削減のための調査及び検討 経済産業省：プローブ情報の集約化・共有化の推進事業 国土交通省：ITSスポットサービス実証実験</small>	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、都道府県警察に予算配賦をしており、施行状況の報告を受けていることから、支出先・使途を把握している。	
		2 見直しの余地 本事業は、安全で快適な交通環境を実現する施策を検討する上で有効なモデル事業であるので、更なるコスト削減に努めつつ、平成24年度に効果測定を行う必要がある。 本実施に当たっては、一般競争入札で行っており、今後も競争性の高い契約の実施に努めることとしている。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。	
		2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 おおむね具体的で十分な内容と認められる。	
		3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り		特になし(事業の終了)	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		当初5-6	平成23年行政事業レビュー 22

警察庁
125百万円

〔モデル事業の委託に要する予算を配賦〕

〔予算配賦〕

A: 警視庁
67百万円

〔システム開発・整備を委託〕

〔一般競争入札〕

C: (株)住友電気システムソリューション
67百万円

〔契約した事業を実施〕

〔予算配賦〕

B: 神奈川県警察
58百万円

〔システム開発・整備を委託〕

〔一般競争入札〕

D: (株)パナソニックシステムソ
リューションズジャパン
58百万円

〔契約した事業を実施〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.警視庁			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	交通管制システム開発・整備に要する経費	67			
計		67	計		0
B.神奈川県警察			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	交通管制システム開発・整備に要する経費	58			
計		58	計		0
C.(株)住友電工システムソリューション			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
機器購入等	中央装置、付加装置の改修	67			
計		67	計		0
D.パナソニック・システムソリューションズ・ジャパン(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
既設改修費	中央装置、付加装置の改修	58			
計		58	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	警視庁	予算配賦	67		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神奈川県警察	予算配賦	58		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

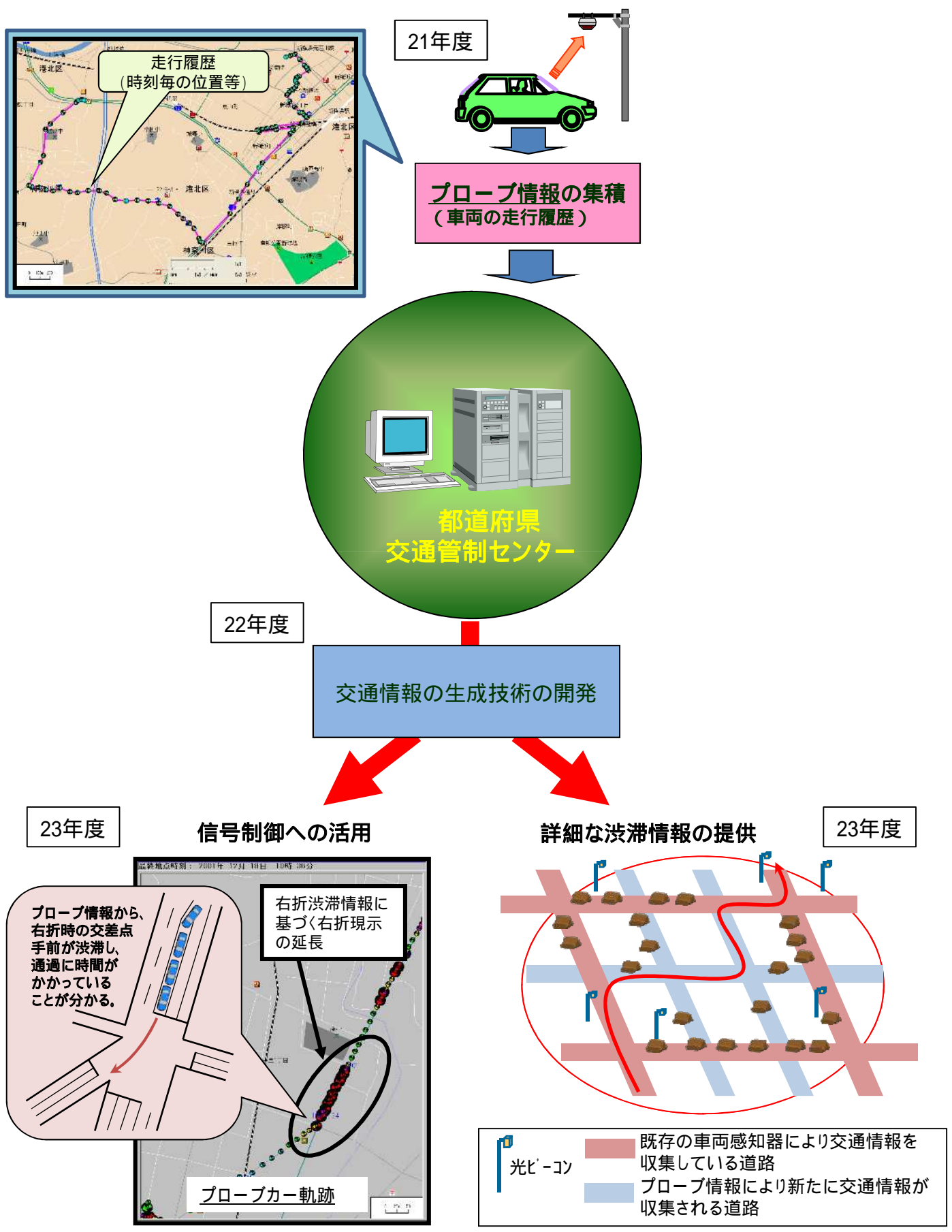
C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)住友電工システムソリューション	中央装置、付加装置の改修	67	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パナソニック・システムソリューションズ・ジャパン(株)	中央装置、付加装置の改修	58	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

プローブ情報を活用した交通管制システムの高度化

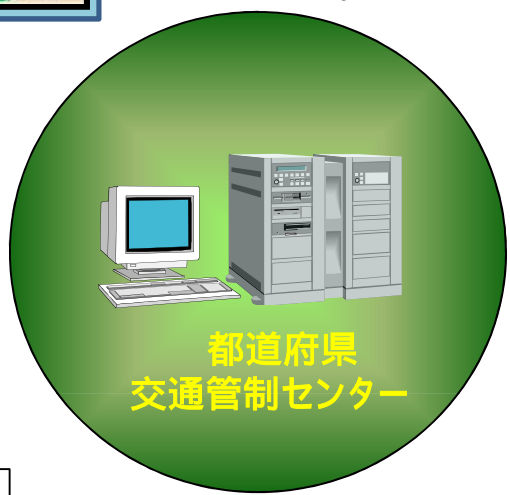


プローブ情報を活用した交通管制システムの高度化

21年度



プローブ情報の集積 (車両の走行履歴)



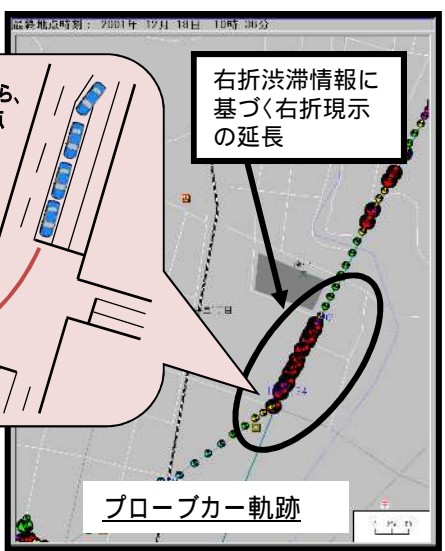
都道府県 交通管制センター

22年度

交通情報の生成技術の開発

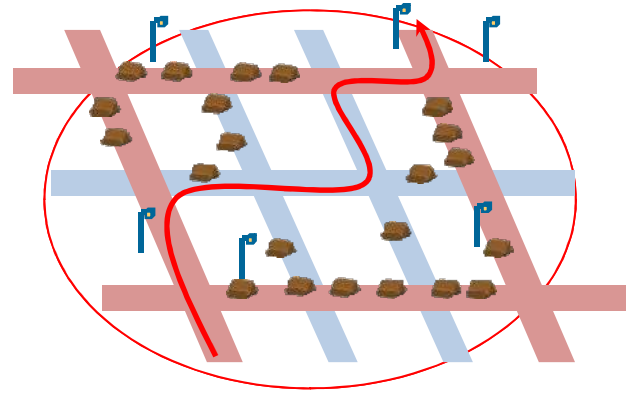
23年度

信号制御への活用



23年度

詳細な渋滞情報の提供



光ビーム

- 既存の車両感知器により交通情報を収集している道路
- プローブ情報により新たに交通情報が収集される道路